

様式第1号（第6条関係）

ばい煙に係る要保全施設設置（使用・構造等変更）届出書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

薩摩川内市環境保全条例第7条（第8条、第9条）の規定により、ばい煙に係る要保全施設の設置（使用・構造等変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
ばい煙に係る要保全施設の種類		※ 施設番号	
ばい煙に係る要保全施設の構造	別紙1のとおり	※ 審査結果	
ばい煙に係る要保全施設の使用の方法		※ 備考	
ばい煙の処理の方法	別紙2のとおり		
公害防止担当責任者の職名及び氏名			
業種			
主要生産品目			

備考

- 1 ばい煙に係る要保全施設の種類の欄には、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第1の1に掲げる施設名を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 構造等変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 次の書類を添付すること。
  - (1) 工場又は事業場の付近の見取図
  - (2) 要保全施設の配置図
  - (3) 操業工程の概要図
  - (4) 要保全施設に係るばい煙の量及び濃度に関する説明書

別紙 1

ばい煙に係る要保全施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号							
名称及び型式							
設置年月日		年	月	日	年	月	日
工事着手予定年月日		年	月	日	年	月	日
工事完成予定年月日		年	月	日	年	月	日
使用開始予定年月日		年	月	日	年	月	日
規模	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)						
	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )						
使用状況	1日の使用時間等	時	～	時	時	～	時
	月間使用日数	時間/回		回/日	時間/回		回/日
	季節的変動	日/月		日/月		日/月	
燃料	種類						
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	硫黄分	灰分	硫黄分		
	発熱量						
	通常の使用量 (L/h)						
	混焼割合						
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)		最大	通常	最大	通常		
排出ガス温度 (°C)							
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常		
	硫黄酸化物 (容量比 ppm)	最大	通常	最大	通常		
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常	最大	通常		
その他参考となるべき事項							

備考

- 1 ばい煙に係る要保全施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。
- 2 燃料中の成分割合 (%) の欄は、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とし、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

## ばい煙の処理の方法

工場又は事業場における施設番号					
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式					
設置年月日			年 月 日	年 月 日	
工事着手予定年月日			年 月 日	年 月 日	
工事完成予定年月日			年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日			年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大			
		通常			
	排出ガス温度 (°C)	処理前			
		処理後			
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
	ばい煙の濃度	硫黄酸化物 (容量比ppm)	処理前		
			処理後		
	ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前	
				処理後	
			通常	処理前	
				処理後	
捕集効率	ばいじん (%)				
	硫黄酸化物 (%)				
使用状況	1日の使用時間等		時 ~ 時 時間/回 回/日	時 ~ 時 時間/回 回/日	
	月間使用日数		日/月	日/月	
	季節的変動				
排出口の実高さ Ho (m)					
補正された排出口の高さ He (m)					
排出速度 (m/s)					

## 備考

- 1 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 2 補正された排出口の高さ He は、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第 2 の 1 の(1)の算式により算定すること。
- 3 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

様式第2号（第6条関係）

粉じんに係る要保全施設設置（使用・構造等変更）届出書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

（氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名）

薩摩川内市環境保全条例第7条（第8条、第9条）の規定により、粉じんに係る要保全施設の設置（使用・構造等変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
粉じんに係る要保全施設の種類		※ 施設番号	
粉じんに係る要保全施設の構造	別紙1、別紙2又は別紙3のとおり。	※ 審査結果	
粉じんに係る要保全施設の使用及び管理の方法			
公害防止担当責任者の職名及び氏名		※ 備考	
業種			
主要生産品目			

備考

- 1 粉じんに係る要保全施設の種類の欄には、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第1の2に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 構造等変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 次の書類を添付すること。
  - (1) 工場又は事業場の付近の見取図
  - (2) 要保全施設の配置図
  - (3) 操業工程の概要図

## 別紙 1

## 粉じんに係る要保全施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号				
名称及び型式				
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
規模	面積 (㎡)			
	堆積能力 (t)			
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量 (t/年)				
使用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要			
	散 水	装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		散水の方法		
	防じんカバーの設置状況			
	薬 液 散 布	薬液の種類・名称		
		装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		薬液散布の方法		
	締 固 め	装置の種類・型式		
		締固めの方法		
その他の方法				

## 備考

- 1 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には、比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
- 2 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量（例えば散水の場合は水量L/t）、実施頻度等を記載すること。
- 3 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 4 粉じんに係る要保全施設及び粉じんの飛散防止のための装置の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 2

粉じんに係る要保全施設（ベルトコンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	ベルト幅 (cm)		
	単基の長さ (m) × 基数		
	ベルトの速度 (m/分)		
	運搬能力 (t/h)		
運搬物の種類、性状及び通常の間月間運搬量 (t/月)			
使用及び管理の方法	ベルトコンベアがその中に設置されている建築物の概要		
	集じん機	集じん機の種類・型式	
		集じん機効率 (%)	
		送風機の原動機出力 (kW)	
	防じんカバーの設置状況		
その他の方法			

備考

- 1 その他の方法の欄には、集じん機等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 2 粉じんに係る要保全施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 3

粉じんに係る要保全施設（吐出施設、帯のご盤、丸のご盤）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	原動機の定格出力 (kW)		
	処理能力 (t/h)		
処理対象物の種類及び通常の月間処理量 (t/月)			
使用 及び 管理 の 方法	吐出施設、帯のご盤又は丸のご盤がその中に設置されている建築物の概要		
	散水	装置の種類・型式	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)	
		処理量当たりの散水量 (L/t)	
	防じんカバーの設置状況		
	集じん機	集じん機の種類・型式	
		集じん機効率 (%)	
		送風機の原動機出力 (kW)	
その他の方法			

備考

- 1 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 2 粉じんに係る要保全施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

様式第3号（第6条関係）

汚水に係る要保全施設設置（使用・構造等変更）届出書

年 月 日

薩摩川内市長 殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

薩摩川内市環境保全条例第7条（第8条、第9条）の規定により、汚水に係る要保全施設の設置（使用・構造等変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		業種	
工場又は事業場の所在地		主要生産品目	
汚水に係る要保全施設の種類		※ 整理番号	
汚水に係る要保全施設の構造	別紙1のとおり	※ 受理年月日	年 月 日
汚水に係る要保全施設の使用の方法	別紙2のとおり	※ 施設番号	
汚水の処理の方法	別紙3のとおり	※ 審査結果	
排水水の汚染状態及び量	別紙4のとおり	※ 備考	
用水及び排水の系統	別紙5のとおり		
公害防止担当責任者の職名及び氏名			

備考

- 1 汚水に係る要保全施設の種類の欄には、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第1の3に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 構造等変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 次の書類を添付すること。
  - (1) 工場又は事業場の付近の見取図
  - (2) 要保全施設の配置図
  - (3) 操業工程の概要図
  - (4) 要保全施設に係る汚水の量及び濃度に関する説明書



## 別紙 1

## 汚水に係る要保全施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
名 称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該要保全施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 2

汚水に係る要保全施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
名 称					
設 置 場 所					
操 業 の 系 統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水の量 ( $\text{m}^3/\text{日}$ )		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水の汚染状態の欄には、当該工場又は事業場の排水に係る規制基準に定められた事項について記載すること。

## 汚水の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節的変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m <sup>3</sup> /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

## 備考

- 1 汚水の汚染状態の欄には、当該工場又は事業場の排出水に係る規制基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

## 排水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 排水の汚染状態の欄には、当該工場又は事業場の排水に係る規制基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>			
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m<sup>3</sup>/日)</p>

備考 工場又は事業場における使用水について、取水から要保全施設及び汚水処理施設を経て公共用水域に排出されるまでの系統を図示し、各々の工程に入る水と出る水の量を記入して、用途別用水使用量を明確にすること。

様式第4号（第6条関係）

騒音に係る要保全施設設置（使用・構造等変更）届出書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

薩摩川内市環境保全条例第7条（第8条、第9条）の規定により、騒音に係る要保全施設の設置（使用・構造等変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		業種	
工場又は事業場の所在地		主要生産品目	
騒音に係る要保全施設の種類		※ 整理番号	
騒音に係る要保全施設の構造	別紙のとおり	※ 受理年月日	年 月 日
騒音に係る要保全施設の使用の方法		※ 施設番号	
騒音の防止の方法		※ 審査結果	
公害防止担当責任者の職名及び氏名		※ 備考	
常時使用する従業員の数			

備考

- 1 騒音に係る要保全施設の種類の欄には、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第1の4に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 構造等変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 次の書類を添付すること。
  - (1) 工場又は事業場の付近の見取図
  - (2) 要保全施設の配置図
  - (3) 操業工程の概要図
  - (4) 要保全施設に係る騒音の大きさに関する説明書

別紙

騒音に係る要保全施設の構造及び使用の方法等

要保全施設の種類			
型 式			
規模又は公称能力			
設 置 数			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用の方法	使用開始時刻	時 分	時 分
	使用終了時刻	時 分	時 分
	月間使用日数	日/月	日/月
	季節的変動		
騒音の防止の方法	防止施設の種類		
	設置（予定）年月日		年 月 日
	防止方法の概要		
	騒音の大きさ （デシベル）	音 源	
敷地境界			
その他参考となるべき事項			

備考

- 敷地境界における騒音の大きさは、防止施設（防止方法）による効果を勘案した値とすること。
- 騒音に係る要保全施設及び騒音の防止施設の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

様式第5号（第6条関係）

悪臭に係る要保全施設設置（使用・構造等変更）届出書

年 月 日

薩摩川内市長 殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

薩摩川内市環境保全条例第7条（第8条、第9条）の規定により、悪臭に係る要保全施設の設置（使用・構造等変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		業種	
工場又は事業場の所在地		主要生産品目	
悪臭に係る要保全施設の種類の種類		※ 整理番号	
悪臭に係る要保全施設の構造	別紙のとおり	※ 受理年月日	年 月 日
悪臭に係る要保全施設の使用の方法		※ 施設番号	
臭気処理の方法		※ 審査結果	
公害防止担当責任者の職名及び氏名		※ 備考	
常時使用する従業員の数			

備考

- 1 悪臭に係る要保全施設の種類の欄には、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第1の5に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 構造等変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 次の書類を添付すること。
  - (1) 工場又は事業場の付近の見取図
  - (2) 要保全施設の配置図
  - (3) 操業工程の概要図



別紙

悪臭に係る要保全施設の構造及び使用の方法等

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模又は能力			
使用状況	1日の使用時間等	時 ～ 時 時間/回 回/日	時 ～ 時 時間/回 回/日
	月間使用日数	日/月	日/月
	季節的変動		
原材料	種類		
	1日当たりの使用量		
臭気 の 処 理 の 方 法	処理施設の種類		
	設置（予定）年月日	年 月 日	年 月 日
	処理方法の概要		
	排出方法又は排出箇所		
その他参考となるべき事項			

備考 悪臭に係る要保全施設及び臭気の処理施設の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

様式第6号（第9条関係）

氏名等変更届出書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

氏名（名称、住所、所在地）に変更があったので、薩摩川内市環境保全条例第12条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		※ 整理番号	
	変更後		※ 受理年月日	年 月 日
変更年月日		年 月 日	※ 施設番号	
変更の理由			※ 備考	

備考

- 1 ※印の欄には、記載しないこと。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第7号（第9条関係）

要保全施設使用廃止等届出書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

要保全施設の使用を廃止した（要件を具備しなくなった）ので、薩摩川内市環境保全条例第12条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
要保全施設の分類及び種類		※ 施設番号	
要保全施設の設置場所		※ 備考	
使用廃止等の年月日	年 月 日		
使用廃止等の理由			

備考

- 1 ※印の欄には、記載しないこと。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第8号（第10条関係）

承継届出書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

要保全施設に係る届出者の地位を承継したので、薩摩川内市環境保全条例第13条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号		
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日	
要保全施設の分類及び種類		※ 施設番号		
要保全施設の設置場所		※ 備考		
承継の年月日	年 月 日			
被承継者	氏名又は名称			
	住所			
承継の原因				

備考

- 1 ※印の欄には、記載しないこと。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

事故報告書

年 月 日

薩摩川内市長

殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

薩摩川内市環境保全条例第29条第2項の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
事故の発生日時	年 月 日 時 分	※ 備考	
事故の発生場所			
流出物質等の種類及び量			
事故の経緯			
被害の状況			
講じた措置			
事故の原因			
今後の対策			
その他参考事項			

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 報告書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 次の書類を添付すること。
  - 工場又は事業場の付近の見取図
  - 工場又は事業場内の建屋及び施設の配置図（流出経路等を記入）
  - 事故の概要を表す図面、表等